



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ゴールドウイン 上場取引所 東
 コード番号 8111 URL <https://www.goldwin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 貴生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 白崎 道雄 TEL 03-6777-9378
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始 2024年6月11日
 予定日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	126,907	10.3	23,847	8.9	32,601	16.1	24,281	15.7
2023年3月期	115,052	17.1	21,904	32.7	28,083	38.4	20,977	46.2

（注）包括利益 2024年3月期 27,493百万円（21.5%） 2023年3月期 22,621百万円（47.2%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	539.09	—	27.0	25.1	18.8
2023年3月期	465.69	—	29.3	25.8	19.0

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 8,477百万円 2023年3月期 5,891百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	140,977	100,170	70.9	2,226.70
2023年3月期	118,517	80,056	67.4	1,774.20

（参考）自己資本 2024年3月期 100,007百万円 2023年3月期 79,914百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	18,551	△1,488	△9,367	42,011
2023年3月期	20,222	△3,381	△7,725	34,207

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	25.00	—	85.00	110.00	5,116	23.6	6.4
2024年3月期	—	30.00	—	132.00	162.00	7,563	30.1	7.6
2025年3月期(予想)	—	40.00	—	123.00	163.00		35.0	

（注）2024年3月期の期末配当金132円には、本社移転に伴う記念配当10円が含まれています。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,800	3.3	2,300	△62.1	5,600	△39.0	4,900	△33.1	108.79
通期	133,200	5.0	18,100	△24.1	25,900	△20.6	21,000	△13.5	466.24

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	47,448,172株	2023年3月期	47,448,172株
2024年3月期	2,535,290株	2023年3月期	2,405,807株
2024年3月期	45,041,033株	2023年3月期	45,046,839株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	114,991	9.9	20,895	7.4	27,739	12.3	20,525	11.2
2023年3月期	104,639	21.9	19,448	38.6	24,707	41.3	18,454	54.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	455.70	—
2023年3月期	409.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年3月期	106,766		69,085		64.7	1,538.22		
2023年3月期	90,579		54,788		60.5	1,216.37		

(参考) 自己資本 2024年3月期 69,085百万円 2023年3月期 54,788百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	48,500	4.9	1,700	△65.9	3,300	△59.8	2,700	△60.4	59.95	
通期	121,900	6.0	16,100	△23.0	20,700	△25.4	15,500	△24.5	344.13	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算書)	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における我が国経済は、気候変動による影響が顕著に現れました。9月後半頃まで続いた記録的な猛暑は、その勢いを弱めることなく、秋口の期間が非常に短く、12月に入っても東京都内の最高気温が20度を上回る時期がありました。アパレル業界はこうした気候変動の影響を大きく受けて、秋物商品の販売動向に遅れが認められました。また、透湿性、速乾性、保温性、消臭性等の機能性を求める動きが、日常着にも広がりました。一方、原材料価格の高騰や円安基調の進行により、アパレル各社は販売価格の引き上げを継続し、販売価格の差が顕著となり、ブランド間での格差が一層際立つようになりました。

このような環境下、当社グループは旺盛なインバウンド需要と新型コロナウイルス感染症の収束に伴う経済活動の再開に支えられて、売上高は2期連続で過去最高を更新し、126,907百万円となりました。

事業区分別では、THE NORTH FACEを中心とするアウトドアウェアを日常の場面で利用する機会が増加し、ライフスタイル区分の売上高が前期比11.0%増となる74,174百万円となりました。また、インバウンド需要は、東アジア中心から欧米や東南アジア地域にまで顧客層が拡大し、THE NORTH FACE PURPLE LABELやGoldwin 0等のファッションアイテムの販売がグローバルでの需要の増加につながり、ファッション区分の売上高が前期比22.0%増の10,911百万円となりました。こうした、ライフスタイルやファッション領域での売上拡大は、パフォーマンスでのファンからの根強い支持に裏打ちされた結果と認識しております。

商品別では、主力アイテムであるダウンジャケットやフリース等の防寒具類の販売が暖冬の影響を受けて、例年よりも1～2か月遅れて販売のピークを迎えましたが、第4四半期に入ってから定価販売を継続し、ブランド価値を維持することができました。また、猛暑による影響で機能性ウェアの販売が堅調に推移したことも、通期業績の安定化に貢献しました。販売チャネル別の動向では、直営店と卸先の実店舗販売がともに好調に推移しました。

売上総利益は、前期比11.9%増の67,173百万円となりました。これは、為替が円安基調に進む中でも、過度な値引き販売を抑え、売上総利益率が前期比0.7%増の52.9%と底堅く推移したことによります。また、販売費及び一般管理費は前期比13.6%増加しましたが、増収効果によって吸収し、営業利益は前年比8.9%増の23,847百万円となり、過去最高益を更新しました。

経常利益は、持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの好調な業績を受けて前期比16.1%増の32,601百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益も、前期比15.7%増の24,281百万円となりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高126,907百万円（前期比10.3%増）、営業利益23,847百万円（前期比8.9%増）、経常利益32,601百万円（前期比16.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益24,281百万円（前期比15.7%増）となり、各利益において過去最高益を更新しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産)

当連結会計年度末の資産の合計は140,977百万円となり、前連結会計年度末より22,459百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加7,824百万円、投資有価証券の増加5,286百万円、商品及び製品の増加3,337百万円があったためであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債の合計は40,807百万円となり、前連結会計年度末より2,345百万円増加いたしました。主な要因は、未払消費税等の減少1,380百万円があったものの、未払法人税等の増加2,140百万円、株式給付引当金の増加1,673百万円があったためであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の合計は100,170百万円となり、前連結会計年度末より20,114百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加18,931百万円があったためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は42,011百万円となり、前連結会計年度末より7,803百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは18,551百万円（前連結会計年度比1,670百万円の収入減）となりました。主な要因は、持分法による投資利益8,477百万円および法人税及び住民税の支払7,069百万円があったものの、税金等調整前当期純利益32,552百万円および利息・配当金受取額5,101百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,488百万円（前連結会計年度比1,893百万円の支出減）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1,994百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは9,367百万円(前連結会計年度比1,641百万円の支出増)となりました。これは主に、配当金の支払5,349百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	56.8	57.8	63.9	67.4	70.9
時価ベースの自己資本比率(%)	331.4	351.4	283.6	478.9	315.1
債務償還年数(年)	0.3	1.3	0.2	0.1	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	148.8	57.1	223.8	474.0	501.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている短期借入金、長期借入金(1年以内返済分を含む)および社債(1年以内返済分を含む)を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

引き続き円安や資源価格高騰の影響はあるものの、旺盛なインバウンド需要に加え、実質賃金の上昇により国内経済が活性化することは、当社のようなブランドビジネスには良い影響を与えると認識しております。

このような状況下、当社グループは、2022年3月期を初年度とする5期間の中期経営計画の進行中でありましたが、同計画を策定した時期は、コロナ禍の長期化を考慮して、同計画の期間中での海外売上高やインバウンド需要の開拓を計画には織り込んでおりませんでした。しかし、現在においては、経済活動が本格的に再開していることや、自社ブランドGoldwinの海外展開を積極的に推進すべく、2025年3月期を初年度とする新しい中期経営計画をスタートさせることを決定しました。

新しい中期経営計画では、これまでの「事業と環境の2つのサステナビリティの両立」の基本方針を継続しつつ、Goldwinブランドによるグローバル展開をより具体化させる方針となります。なお、このGoldwinブランドによる海外展開についての事業計画や、THE NORTH FACEの市場拡張、成長投資先の探索や株主還元、人的資本への投資等のキャッシュアロケーションの方針については、株主総会終了後の7月中旬に公表する予定です。

2025年3月期については、上記中期経営計画に沿った計画の初年度に位置づけております。幅広い顧客層への新たなアプローチを進めていくことで、THE NORTH FACEを中心とした当社展開ブランドへの顧客からの支持を強固なものとし、売上高は過去最高額の連続更新を目指す方針です。なお、販売費及び一般管理費については、J-ESOPを含む人件費や本社移転費により一時的に費用が増加する見込みとなります。そのため、営業利益は181億円、経常利益は259億円と、前期比減益の見込みとなりますが、2026年3月期からは販売費及び一般管理費の一過性の費用負担分はなくなる見込みとなります。

そのため、一時的な減益見通しを経て、筋肉質な増益体質への早急な進化を遂げるために、コスト管理の徹底と資本効率を意識した成長投資を実施していく所存です。また中期経営計画の初年度においては、自社ブランドGoldwinの育成を促進するために、「GW500」の長期目標を設定し、海外でのブランドプレゼンスを強化することで、Goldwinブランドによる2033年3月期までに全世界売上高が500億円に達することを目指します。

なお、当業績予想は、発表時点での入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は予想と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づく連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,654	43,479
受取手形	524	73
電子記録債権	4,302	6,571
売掛金	11,474	13,812
商品及び製品	13,550	16,887
仕掛品	352	380
原材料及び貯蔵品	725	949
その他	2,610	1,685
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	69,184	83,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,160	1,995
機械装置及び運搬具 (純額)	281	221
土地	4,691	4,691
リース資産 (純額)	1,281	1,457
その他 (純額)	429	1,602
有形固定資産合計	8,844	9,969
無形固定資産		
ソフトウェア	877	720
商標権	1,205	921
ソフトウェア仮勘定	1,135	1,428
その他	72	60
無形固定資産合計	3,290	3,131
投資その他の資産		
投資有価証券	28,895	34,181
長期貸付金	45	45
退職給付に係る資産	1,470	2,717
差入保証金	2,849	2,730
破産更生債権等	19	19
繰延税金資産	1,342	1,497
その他	2,712	2,990
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	37,197	44,044
固定資産合計	49,332	57,144
資産合計	118,517	140,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,116	4,312
電子記録債務	15,717	15,490
1年内返済予定の長期借入金	940	940
リース債務	494	485
未払金	2,382	2,783
未払法人税等	3,544	5,685
未払消費税等	1,697	316
未払費用	1,473	1,769
契約負債	727	908
賞与引当金	889	1,605
その他	1,098	1,569
流動負債合計	34,082	35,866
固定負債		
長期借入金	1,645	432
リース債務	922	997
退職給付に係る負債	229	185
資産除去債務	57	58
株式給付引当金	1,074	2,748
その他	449	517
固定負債合計	4,378	4,940
負債合計	38,461	40,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	297	1,548
利益剰余金	78,129	97,061
自己株式	△7,127	△10,362
株主資本合計	78,379	95,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	728	1,812
繰延ヘッジ損益	55	40
為替換算調整勘定	1,855	2,927
退職給付に係る調整累計額	△1,105	△100
その他の包括利益累計額合計	1,534	4,680
非支配株主持分	141	162
純資産合計	80,056	100,170
負債純資産合計	118,517	140,977

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	115,052	126,907
売上原価	55,016	59,734
売上総利益	60,035	67,173
販売費及び一般管理費	38,130	43,326
営業利益	21,904	23,847
営業外収益		
受取利息	28	36
受取配当金	68	86
持分法による投資利益	5,891	8,477
その他	340	254
営業外収益合計	6,328	8,855
営業外費用		
支払利息	42	36
手形売却損	4	—
保険解約損	10	6
コミットメントフィー	16	16
その他	76	41
営業外費用合計	150	101
経常利益	28,083	32,601
特別利益		
投資有価証券売却益	18	491
子会社清算益	80	—
補助金受贈益	45	—
特別利益合計	144	491
特別損失		
固定資産処分損	95	38
減損損失	21	31
店舗閉鎖損失	38	1
投資有価証券評価損	94	123
特別退職金	21	216
固定資産圧縮損	45	—
事業撤退損	—	70
その他	17	57
特別損失合計	334	540
税金等調整前当期純利益	27,892	32,552
法人税、住民税及び事業税	6,528	9,027
法人税等調整額	332	△823
法人税等合計	6,861	8,204
当期純利益	21,030	24,347
非支配株主に帰属する当期純利益	52	66
親会社株主に帰属する当期純利益	20,977	24,281

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	21,030	24,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	1,083
繰延ヘッジ損益	△36	38
為替換算調整勘定	109	103
退職給付に係る調整額	△268	1,004
持分法適用会社に対する持分相当額	1,537	915
その他の包括利益合計	1,590	3,145
包括利益	22,621	27,493
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	22,568	27,427
非支配株主に係る包括利益	52	66

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,079	276	61,356	△5,377	63,335
当期変動額					
自己株式の取得				△2,027	△2,027
自己株式の処分		21		277	298
剰余金の配当			△4,204		△4,204
親会社株主に帰属する当期純利益			20,977		20,977
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	21	16,773	△1,749	15,044
当期末残高	7,079	297	78,129	△7,127	78,379

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	480	98	196	△830	△56	132	63,411
当期変動額							
自己株式の取得							△2,027
自己株式の処分							298
剰余金の配当							△4,204
親会社株主に帰属する当期純利益							20,977
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	248	△42	1,659	△274	1,590	9	1,600
当期変動額合計	248	△42	1,659	△274	1,590	9	16,644
当期末残高	728	55	1,855	△1,105	1,534	141	80,056

当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,079	297	78,129	△7,127	78,379
当期変動額					
自己株式の取得				△2,325	△2,325
自己株式の処分		49		291	340
株式給付信託による自己株式の取得				△4,100	△4,100
株式給付信託に対する自己株式の処分		1,201		2,899	4,100
剰余金の配当			△5,349		△5,349
親会社株主に帰属する当期純利益			24,281		24,281
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	1,250	18,931	△3,235	16,947
当期末残高	7,079	1,548	97,061	△10,362	95,326

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	728	55	1,855	△1,105	1,534	141	80,056
当期変動額							
自己株式の取得							△2,325
自己株式の処分							340
株式給付信託による自己株式の取得							△4,100
株式給付信託に対する自己株式の処分							4,100
剰余金の配当							△5,349
親会社株主に帰属する当期純利益							24,281
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	1,083	△14	1,071	1,005	3,145	20	3,166
当期変動額合計	1,083	△14	1,071	1,005	3,145	20	20,114
当期末残高	1,812	40	2,927	△100	4,680	162	100,170

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	27,892	32,552
減価償却費	1,762	2,046
持分法による投資損益 (△は益)	△5,891	△8,477
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	166	△1,247
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	△43
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	127	1,673
減損損失	21	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△54	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△758	715
受取利息及び受取配当金	△96	△123
支払利息	42	36
固定資産処分損益 (△は益)	95	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,467	△4,153
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,196	△3,578
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,701	△1,043
未払金の増減額 (△は減少)	228	242
未払消費税等の増減額 (△は減少)	269	△1,313
前払費用の増減額 (△は増加)	△217	110
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,384	1,151
その他	704	1,964
小計	22,958	20,557
利息及び配当金の受取額	3,539	5,101
利息の支払額	△42	△36
法人税等の支払額	△6,233	△7,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,222	18,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△730	△768
定期預金の払戻による収入	718	799
固定資産の取得による支出	△1,770	△1,994
投資有価証券の取得による支出	△659	△131
投資有価証券の売却による収入	40	967
賃貸借契約に基づく予約金の支出	△681	△124
差入保証金の差入による支出	△280	△162
差入保証金の回収による収入	135	81
その他	△151	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,381	△1,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50	—
長期借入金の返済による支出	△1,652	△1,212
リース債務の返済による支出	△611	△608
自己株式の売却による収入	170	172
自己株式の取得による支出	△1,431	△2,325
配当金の支払額	△4,204	△5,349
その他	△45	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,725	△9,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,170	7,803
現金及び現金同等物の期首残高	25,036	34,207
現金及び現金同等物の期末残高	34,207	42,011

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）および当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）および当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）および当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）および当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）および当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,774.20円	2,226.70円
1株当たり当期純利益	465.69円	539.09円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	80,056	100,170
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) (うち非支配株主持分)	141 (141)	162 (162)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	79,914	100,007
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	45,042	44,912

1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	20,977	24,281
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	20,977	24,281
期中平均株式数(千株)	45,046	45,041

株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度2,401,333株、当連結会計年度2,407,139株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度2,405,807株、当連結会計年度2,535,290株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動 (2024年6月26日付予定)

・ 新任取締役候補

取締役 金田 武朗

取締役 土谷 明

取締役 井本 直歩子

・ 退任予定取締役

取締役 森口 祐子

(注) 新任取締役候補 土谷明氏及び井本直歩子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者であり、独立役員として東京証券取引所に届け出る予定であります。